

～若い力で地域の農業を守ります～
城戸 麻里さん（松前町）

JAえひめ中央各作物部会
1983 年生まれ



☆経営概況☆

ハウス 10a と露地 41a の野菜を中心とする経営を展開。10aのハウスでは経営の柱となるなすを、露地ではえだまめやレタスを栽培しています。基本的には地域の推進品目に取り組み、出荷等はJAを利用しています。

労働力は1人であり、就農1年目は、なすのホルモン着果促進剤や薬剤散布の農作業に時間を取られ他の管理作業が疎かになったことから、現在は**マルハナバチの導入と生物農薬導入により労働軽減**を図っています。

☆ここがポイント☆

■就農の経緯

愛媛大学卒業後、鹿児島大学農学部付属農場に就職し、花きや畜産にかかる仕事に従事するなかで、自ら花き栽培経営に挑戦したいという思いが強くなり、就農を決意し平成25年9月に帰郷しました。

帰郷後は**試験研究機関や先進農家等で研修**するとともに、農地や農業機械等の取得準備等を行い平成27年に就農しました。

■経営品目の変更

花き栽培に向けて帰郷後すぐにハウス付き農地を探しましたが、取得するまでに1年以上かかりました。しかし、取得した農地では花き栽培には土壤環境が合わず野菜栽培を目指しています。

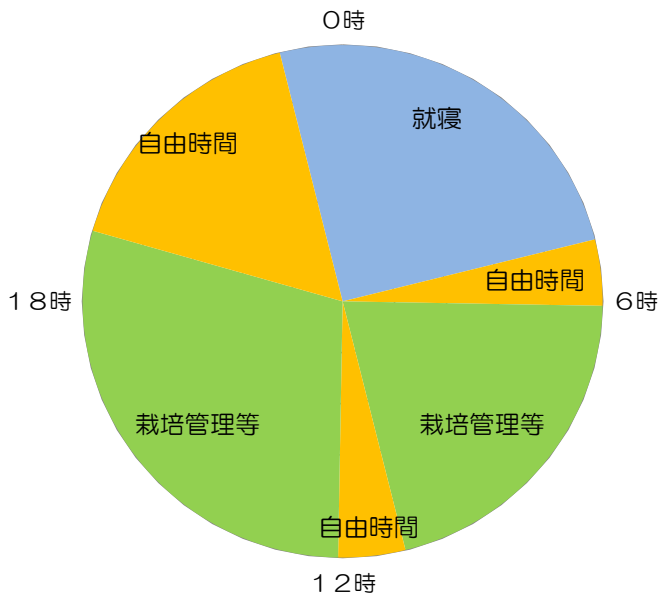


マルハナバチ導入でトーン処理軽減



なす収穫中

【一日のライフスタイル（繁忙時）】



【普段の生活について】

なす収穫ピークの6～7月とえだまめ収穫時期の8月は、早朝から夜遅くまで仕事をする日もあるくらい忙しく、ほとんど休みがありません。

それ以外の時期はしっかりと休養日を設定、体のメンテナンスと映画鑑賞や読書といった趣味の世界に没頭しています。

【1週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定期（作業が少ない時などが休日）					
← 栽培管理・収穫・出荷など →						
【普通期】						
← 栽培管理・収穫・出荷など →						→ 休日 →



野菜の育苗について学習



青年農業者の仲間とほ場で意見交換

☆これからの夢や目指すもの☆

農業経営の活動拠点である松前町は気候もよく農業に適した地域ですが、私の周りでも高齢でリタイアする農家が増えてきました。若い農家も少なく、農地の維持管理が難しくなりつつあります。豊かな農地を次の世代に引き継げるように地域の方々と協力して頑張っていきたいと思います。

☆メッセージ☆

就農を決意してから実際に就農するまでに長い時間がかかりました。その理由として基盤となる農地がすぐに確保できないことがあげられます。農地を取得するには地域からの信頼も必要であり人間関係を築くことが重要となってきます。